

# 地域密着型クリニックとして白内障手術と眼瞼手術を日帰りで行い 学童期のお子さんの近視進行抑制の啓蒙・啓発活動に取り組み



あさいアイクリニック  
浅井 智子 院長

あさい・ともこ  
医学博士。2004年、大阪市立大学医学部卒業。04年、大阪市立大学医学部附属病院。10年、大阪大学医学部附属病院。11年、大阪府立急性期総合医療センター。12年、大阪大学眼科。16年、大阪大学大学院医学系研究科修了。同年、あさいアイクリニック開設。日本眼科学会認定眼科専門医



患者さんとのコミュニケーションを重視。患者さんの気持ちに寄り添って一人ひとりに合ったオーダーメイドの診療を提供することを常に心がけている



白内障手術は網膜剥離、加齢黄斑変性、近視性脈絡膜新生血管、黄斑円孔、網膜前膜などの難知性網膜疾患の研究と手術治療のスペシャリストである同院手術顧問の生野名譽院長が行い、眼瞼手術は浅井院長が手がける

## あさいアイクリニック

兵庫県尼崎市南武庫之荘1-19-26 サークルFビル3階  
https://asai-eye.com/  
【TEL】06-6423-8871  
【診療時間】月・火・金 9:30~12:30 / 15:30~18:30  
木・土 9:30~12:30  
【休診日】水、木・土午後、日、祝



## いくの眼科

大阪府大阪市淀川区十三東2-9-10 十三駅前医療ビル3F  
https://ikuno-eye.com/  
【TEL】06-6309-4930  
【診療時間】月・火・木・金 9:00~12:00 / 14:00~17:30  
水・土 9:00~12:00  
【休診日】水・土午後、日、祝

## 白内障日帰り手術は経験豊富な エキスパートドクターが執刀

あさいアイクリニックは、いくの眼科の分院として2016年8月に阪急神戸線武庫之荘駅から徒歩1分という至便の地に開

視進行抑制に力を入れ、強度近視にならないよう近

設された。

「当院は、地域密着型の眼科クリニックとして白内障手術と眼瞼手術を日帰りで行

い、豊富な実績を上げています。また、学

童期のお子さんに近視がすすまないよう近

視進行抑制に力を入れ、強度近視にならない

いたための啓蒙・啓発活動に取り組んでいま

す」と浅井智子院長は話す。

白内障日帰り手術は、経験豊富なエキス

パートドクターで同院の名譽院長である、いくの眼科の生野恭司院長が手術顧問として執刀する。

「白内障疾患では、最新機器を導入して水晶体再建術を行います。遠近両用の多焦点眼内レンズにも対応しています」と浅井院長。

眼瞼手術では、眼瞼下垂症手術、眼瞼内反症手術、眼瞼結膜腫瘍手術、眼瞼外反症手術など難易度の高い手術を日帰りで行い、鼻涙管閉塞に対する涙管チューブ挿入術も手がけている。

一方、近視治療では、視力矯正コンタクトレンズを用いて近視矯正を図るオルソケ

ラトロジーや薬物療法で成果を上げている。  
患者さんの話をよく聞き  
笑顔で接して不安を解消

あさいアイクリニックは、阪急神戸線の西宮、芦屋、阪急今津線の宝塚、阪神本線の尼崎などを中心とした患者さんが来院する。

「目の疾患について、ご本人が納得するまで何回でも説明するようにしています。不安や悩みを抱えて、ちよつと恥ずかしそうに『こんなこと、いいですか?』と尋ねられる患者さんがおられますが、ご質問がどんなに些細な事柄でも日常生活での注意点も含めて医学的なアドバイスをさせて頂いています。患者さんには、なるべく笑顔で接して、お話をよく聞いて、不安を一つでも二つでも解消して帰っていただくような心がけています」と浅井院長は患者さんとのコミュニケーションの大切さについて述べた。



いくの眼科  
生野 恭司 院長

いくの・やすし  
あさいアイクリニック名誉院長  
大阪大学招へい教授  
金沢大学臨床教

1990年、大阪大学医学部卒業。92年、国立大阪病院(現・国立病院機構大阪医療センター)。97年、大阪大学医学部眼科助手、米国Harvard大学Schepens眼研究所留学。2000年、大阪大学医学部眼科助手復職。02年、同院内講師。07年、同講師。14年、金沢大学医学部眼科非常勤講師(兼任)。15年、いくの眼科開設、大阪大学招へい教授(兼任)、金沢大学臨床教授(兼任)。日本眼科学会認定眼科専門医。日本強度近視学会副理事長、国際的近視学会(iPM)理事、脈絡膜画像診断研究会代表世話人、近視緑内障研究会世話人、Retina Glaucoma Club (RGC) 世話人

広域ネットワークづくりの初めての取り組み例として、いくの眼科のある十三駅と同一沿線の武庫之荘駅にあさいアイクリニックを開業しましたが、浅井院長は大学病院時代に強度近視や網膜疾患全般を習得してきました。将来的な目標としては、沿線の各駅に提携病院を置くことで、患者さんの利便性の向上を図るとともに、一人でも多くの方が高度医療をより気軽に受けられる機会が増えることで、目の悩みを抱えている一人でも多くの患者さんを救いたいと思っています。

高度医療をより気軽に受けられる機会を増やし  
目の悩みを抱えている一人でも多くの患者さんを救いたい